



Alisa Takashima
2022年入社
IT Specialist

若手でも 責任感のある仕事。

私はIT Specialistとして、お客様と連携してセキュリティ対応の業務に当たっています。3年目の今、セキュリティマネージャーという立場になり、裁量と責任が大きな立場になったので工夫しながら仕事するのが楽しいな、やりがいだなと感じているところです。

フラットで安心感のある 職場環境。

キンドリルのカルチャーとして掲げられている「フラット」。その言葉通りフラットな職場で若手であっても意見を自由に発信できます。私が入社した頃の頃、社内システムについて気になったことを当時の社長に連絡したところ、直接返答をもらえたことがありました。

グローバルに共創する 機会。

US本社から監査が入った際には、英語でグローバルチームの通訳をしたりサポートをしたりといった業務を行いました。英語を用いたコミュニケーション能力を活かし、グローバルに協働していくスキルを向上させることができました。

上司が しっかり支えてくれる。

上司は私が成し遂げたこと、そして新しくチャレンジしてみたことをしっかりと評価してくれます。さらに新しい業務を任せてくださったり、そこから希望を聞いて「一緒に頑張っていこう」と手を差し伸べてくださったりと技術的にも、メンタル面でも尊敬できる人たちと働いていると思います。

根付く コンプライアンス意識。

どんな立場の人でも意見やアイデアを周りの人に共有できる風通しのいい職場です。また、社員の皆さんはコンプライアンス意識が高く、産休育休などのライフイベントに関してなにか言われたり、止められたりはまずありません。女性にとっても働きやすい環境じゃないかと思います。

社内コンペへの チャレンジ。

社内では、自分でチーム編成してハッカソンに参加する機会があります。AIがテーマの回に参加した際に、私の専門分野であるセキュリティのプロセス管理の仕事全体をAI化するという提案にチャレンジしました。先輩社員の技術や意見を取り入れ、プロトタイプまで作るという貴重な経験ができました。



Takanori Ishitani
2023年入社
IT Specialist

距離の近さが 安心感へ。

出社してみるとキンドリルの雰囲気がよくわかるかと思います。立場や年齢関係なく近い距離で社員が仕事をしているんです。実際に、どんなに上の方でも「さん」付けで呼び合うといった肩の力を抜いた、物理的にも心理的にもコミュニケーションをとりやすい環境がキンドリルの特長です。

相談できるから 挑戦できる。

社員同士の距離が近いから困りごとなんかもすぐに相談できますね。チャットを送ると、誰でも解決に向けたアドバイスをしてくれます。さらにありがたいのは1聞いたら10教えてくれること。身近に様々な分野のエキスパートがいて、なんでも相談できるからこそ、新しい挑戦への背中を押してくれる環境なんです。

インフラならではの やりがい。

就活をしている時、クラウドの需要が高まっているという風潮を感じていました。また自分にはアプリよりも上流にあたるインフラをやりたいという気持ちもあり、キンドリルが分社化のタイミングだったことも重なりおもしろそうという興味が湧き今の仕事になりました。

社会にインパクトのある 仕事。

金融機関のインターネットバンキングシステムの運用を担当しています。エンジニアとしての技術的な支援から運用状況の報告、セキュリティ管理など業務は多岐にわたります。社会的インパクトを持つお客様の複雑なITインフラシステムに携わることができ、大きな責任とやりがいを感じます。

オンオフはしっかり 切り替え。

プライベートな面で言うと学生時代から今までずっとギターに打ち込んでいます。外資系企業にはバリバリと働く印象があったのですがキンドリルはオンオフがはっきりしていますね。おかげさまで今でもバンドをやったりとプライベートのしっかりした時間がとれています。

提案のできる 次のフェーズ。

キンドリルには若手であっても、やってみたいことに挑戦させてくれる風土があります。また、上流工程の仕事が出来ることも魅力です。今後はさらに技術的な知識や、業界への理解を深めて、お客様にシステムを提案できるようになりたいです。



Mayu Watanabe
2022年入社
IT Specialist

PMロールも 選択できる。

更改案件のリーダーとして、方式検討、スケジュール管理、移行作業や移行後の品質管理を担当し、進行を担う仕事にやりがいを感じています。キンドリルのITエンジニア職は、若いうちからPMやアーキテクトなど様々なキャリアを選べるため、色々な業務を経験し、自分に合った道を選びたいと考えています。

メインフレームは おもしろい。

メインフレームは、言語を積極的に学んでいく必要があるので、知識が定着した時の達成感が大きく、成長を実感する機会が多いですね。その学びを活かして、企業の中核を担う重要なシステムかつ、長年稼働している大規模なシステムの構築や保守運用に携われる点は、とても貴重でやりがいを感じています。

不安も疑問も すべて解消。

自分の成長を本当に後押ししてくれる環境だと感じています。入社前はIT業務についていけるか不安がありました。ですが入社すると、先輩・上司の方が、定期的な報告会や共有会など、分からないことがあればすぐ聞ける場づくりをしてくださり、疑問を残さず仕事を進めることができています。

残業は 当たり前じゃない。

入社前はSEに対して「残業が多そう…」というのが正直なイメージでしたがワークライフバランスがとても整っていると思います。プロジェクトにもよるとは思いますが、定時に帰る方が多い印象です。有給休暇を取れる日数も多く、自分のタイミングで休みやすい雰囲気があるように感じます。

充実した コミュニティ活動。

キンドリルはたくさんのボランティア活動やコミュニティ活動がある印象です。私も入社一年目でJTC(Japan Technical Council)というコミュニティ活動に参加していました。5年目くらいまでの若手社員が週に1回集まるイメージで、お互いの技術を高めあうことを目的に開催されていました。

ナレッジを 次につなぐ。

やっぱり、最初はわからないことだらけなので、同じような悩みを持つ若手社員とお互いの状況を共有していくことは安心感にもつながりましたね。また成果発表をする場もあるので、先輩からのFBもいただきながら自分のナレッジが誰かに活用されるというのはモチベーションアップにもなったように思います。